

令和3年度(2021年度)事業計画書

令和3年(2021年)1月1日～令和3年12月31日

令和3年度事業計画について、定款に基づき下記の事業を行う。

1. 日米草の根交流サミット Pre 和歌山大会 2021 の開催
2. 日米草の根「絆」交流 みやぎ～サンフランシスコ大会(仮)の開催
3. 第1回日米草の根交流ユースサミット 2021 の開催
4. 日米草の根交流サミット 2022 和歌山大会の開催準備
5. 日米草の根交流サミット 2023 年以降の開催準備及び開催地発掘
6. 情報の発信

1. 日米草の根交流サミット Pre 和歌山大会 2021 の開催

場 所: オンライン

共催団体: 和歌山県庁、和歌山大会実行委員会、CIE-US

開催時期: 2021年6月下旬 午前

内 容: 2022年6月に延期された「第30回日米草の根交流サミット 2022 和歌山大会」に向けて準備をすすめている和歌山県の様子をオンラインで紹介しながら、和歌山大会参加予定アメリカ人と地域分科会のキーパーソンやスタッフたちとの大会開催前の交流を図る。

【Pre 和歌山大会の概要】

新型コロナウイルス感染への不安は当面拭われないことから、共催の和歌山県庁は2021年の交流活動全般に対する活動自粛を決定したため、同県庁との協議により和歌山大会の2022年6月への延期を決定した。

延期された1年を通し、和歌山県の歴史や文化、自然など、地域の魅力をたっぷりオンラインで紹介していく。既に決定している地域分科会のキーパーソンとその地域を紹介すると共に、ホストファミリーらとアメリカ人参加者との事前の交流を可能とする機会を提供する。

また、翌年開催の和歌山大会のPRおよび説明会としての機会とし、オンライン視聴参加者はCIE-USの協力を得て、過去サミット参加者および全米の大会参加希望者に告知する。

2. 日米草の根交流「絆」交流 みやぎ～サンフランシスコ大会(仮)の開催

場 所: 東京オリンピックおよび石巻市

開催時期: 2021年7月下旬～オリンピック開催期

内 容: 2011年、東日本大震災で被災した石巻の小中学校へ、サンフランシ

スコの Lick-Willmerding 高校は復興応援のために学用品を送った。2009 年宮城大会の石巻地域分科会に同高校の生徒が参加し、翌年の 2010 年サンフランシスコ大会でも協力したのがきっかけである。その Lick-Willmerding 高校の卒業生 Gerek Lin Meinhardt 選手が東京オリンピックの男子フェンシングアメリカ代表として出場する。10 年以上の草の根交流の「絆」を記念し、石巻市の小中学生が応援へ駆けつけ「感謝」を伝える機会とする。また、可能であれば、試合後には Meinhardt 選手およびフェンシングチームが石巻市を訪問し、新たな絆づくりの交流を図る。

3. 第1回日米草の根交流ユースサミット 2021 の開催

場 所: フィラデルフィア近郊

共催団体: CIE-US

開催時期: 2021 年 10 月 20 日(水)～26 日(火)

内 容: 中学高校生を対象にした第 1 回日米草の根交流ユースサミット 2021 を、フィラデルフィア近郊において開催する。主催は、CIE、CIE-US。協力はヴァイノヴァ大学、フィラデルフィア日米協会およびローゼンバック博物館。

【ユースサミット 2021 開催の経緯・概要】

未だ新型コロナ感染拡大の影響は大きく、2021 年度の国際交流の不安は払拭されていないが、第 30 回日米草の根交流サミット 2020 フィラデルフィア大会に参加予定であった中学高校生徒達の日米交流の機会が失われることを危惧し、小規模でも学生交流を持続させるため、CIE-US の協力のもと開催する。

対象人数は生徒 20 名、引率 5 名とし、兵庫・姫路大会でワシントン州からの中学・高校生をホストした、兵庫県立宝塚西高校、兵庫県立大学附属中学校、兵庫県内中学・高校から選抜された生徒、およびフィラデルフィア大会に参加予定であった福島県の葛尾中学校および川内中学校の生徒が参加する。

日本人生徒達はフィラデルフィア近郊の中学・高校へ分散して訪問し、それぞれの学校で2日間の交流プログラムを体験する。プログラムには、「災害と持続可能な発展」について討論の機会を設け、世界的なパンデミックを経験した日米双方の同世代での対応・対策・相違点や共通点について学ぶ機会を提供する。

交流予定の学校は JYK ディスカバリー中学校、ローメリオン高校および中学校。JYK ディスカバリーは毎年全校生徒を対象にユニークな地域を選んで海外修学旅行を実施しており、次回の日米草の根交流サミットへの参加も表明している。ローメリオン高校は日本人教師による日本語クラスを設けており、日本文化に大変興味を持つ

ている。

また、同時期に開催されるヴィラノヴァ大学主催の東海岸中部アジア研究学会(MARAAS)に出席予定のホイットフィールド船長およびペリー提督の子孫と面談し、日米交流の原点と歴史を学ぶ。

さらに、期間中フィラデルフィアのローゼンバック博物館の協力を得て、所蔵の「漂異紀畧」の現存する最古の写本を見学し、日米双方の生徒達に万次郎-ホイットフィールド船長-ペリー提督の関係、日米の友好交流の歴史を深く理解する機会を提供する。

事前オリエンテーションとして、8月下旬にオンラインで訪問前の対面交流を行い、また、事後オリエンテーションも11月下旬ごろ予定し、交流プログラムの成果を発表する場とする。

プログラム旅程日程は以下のように予定している：

開催時期：2021年10月20日(水)～26日(火)

10/20(水) フィラデルフィア到着

10/21(木)～10/22(金) フィラデルフィア近郊にて学校交流プログラム
オープニング式典 ホームステイ(予定)

10/23(土) ホストファミリーと過ごす1日
ローゼンバック博物館「漂異紀畧」写本見学
ホームステイ(予定)

10/24(日) ヴィラノヴァ大学 アジア研究学会(MAARAS)見学
ホイットフィールド氏、ペリー氏と面談
クロージングセレモニー

10/25(月) 空路帰路へ

10/26(火) 帰国

※今後のコロナ禍の状況により、フィラデルフィアでの開催が困難になることも推測し、以前よりアプローチを続けているフロリダを代替地として準備を進める。フロリダ州は、次期サミット大会開催地の和歌山県との姉妹州であり、モリカミ日本庭園やヤマト・コロニーなど日本人移民の文化や歴史などに触れられる地域である。

場 所：フロリダ州

共催団体：フロリダ和歌山文化協会、北西フロリダ日米協会、CIE-US

4. 第30回日米草の根交流サミット2022 和歌山大会の開催準備

開催地：和歌山県内各地

共催団体：和歌山県

開催時期：2022年6月21日(火)～6月27日(月)

内 容：コロナ禍の影響で2021年6月に開催予定だった和歌山サミット大会

を1年延期し2022年に第30回日米草の根交流サミット2022和歌山大会として、和歌山県庁、和歌山大会実行委員会(令和3年3月頃結成予定)とともに受入れ準備を進める。

2020年初期にはすでに、オープニングおよびクロージング式典の会場、9市町の団体・自治体が地域分科会として決定している。コロナ禍後の不安や影響を払拭し、安全・安心な交流ができるよう、引き続き、仁坂和歌山県知事、下副知事、和歌山県庁国際課らのご協力を得ながら準備を進める。

5. 2023年以降の日米草の根交流サミット大会の開催地発掘

2024年には、セントラルオハイオ日米協会(オハイオ州コロンブス)との共催によるオハイオ大会が決定しているが、2023年、2025年以降の大会開催地の発掘を随時行っていく。

アメリカでの大会には全米日米協会(NAJAS)および各地の日米協会と、日本での開催については、都道府県の国際課や日米協会、また、万次郎および国際交流に興味のある団体と交渉を進める。

6. 情報の発信

(1) ニュースレター「草の根通信」

令和3年度中に4回発行する。財団ウェブサイトに掲載するとともに、必要部数を冊子として製本し、賛助会員、寄付者、次年度開催地の関係者、ボランティア等に配布。フィラデルフィア大会開催に関する広報機能も有したものとする。

(2) 活動報告書(アニュアルアクティビティレポート)の刊行

内 容: オンラインサミットやユースサミット、交流プログラムなど、その他の令和3(2021)年度中の活動報告。日英の両言語表記。

配布先: 財団及び大会・交流プログラム関係者
広報資料としても活用。

(3) 電子媒体

① オンライン交流やウェビナー開催

新しい様式化への対応として、直接的な対面交流活動に支障が生じる場合に応じるために、オンラインを利用した日米交流や勉強会を用意できるよう準備する。

② ホームページおよびSNSの活用

最新情報や財団の活動全体を常時参照できるツールとしてホームページを利用してもらえるよう整備する。また最新のサミット大会情報にアクセスしやすいものとし、参加者募集により直接的に役立つものとする。また、今後電子書類やオンライン申し込みなど、メール配信による情報発信の促進につなげる。

以上